

水栓パン「FUNE」

施工・取扱説明書

この度は、FUNEをご購入いただきありがとうございます。
取付け前・ご使用前に、この「施工・取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

安全上のご注意

- ここに示した注意事項は状況によって重大な結果（損害・物損）に結びつく可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 本製品の取付け工事は必ず水道工事店など専門の工事店に依頼してください。
- 本製品は永久商品ではないため、著しい劣化が見られた場合は販売店・工務店にご相談のうえ、
早めの修理・交換をお願いします。

＜施工上のご注意＞

- 施工前に輸送中の破損が無いか確認してください。
- 施工段階での欠陥工事は、施工店に対して賠償責任が問われる場合があります。
この点を充分にご認識いただき、お客さまが安全で快適にご使用できるようご協力ください。
- 本製品の取付工事は、水道法、その他の法令、地方自治体の条例、規則など各種法規に従い
行ってください。
- 本製品はレジンコンクリートで形成されており、高い曲げ強度を持つ堅牢な製品ですが、基本的には一般のコンクリート製品と同等の品質のため、
壊れ物としてご認識ください。重い物を乗せる、落とす、ぶつける、引きずる等しますと、変形・破損するおそれがあります。
- 本品は水はけの良い場所に設置してください。排水不良により凍結し、器具破損及び故障のおそれがあります。
- 本品と合わせて使用する水栓金具は、必ず止水栓（流量調整のできる器具）を取付けた配管に設置してください。

＜お客様へのご注意＞

- 施工に際しては、必ずこの施工説明書に従い正しく施工するよう指示してください。この施工説明書に記載されていない方法で施工し、それが原因で
故障が生じた場合は、商品の保障を致しかねます。十分ご注意ください。
- お湯の温度を調整してください。直接 80℃以上の熱湯を入れたりお湯をかけたりすると、製品や排水トラップを傷めたり、寿命を短くしたりする原因となります。
- 本体および水はね防止マットは樹脂製品です。溶ける危険があるため、火を近づけないでください。
- 水栓パンの上に裸足で乗らないでください。水はね防止マットにより、足を怪我するおそれがあります。
- 着水位置と水はね防止マットの位置関係により、多少の水はねが発生する場合があります。
水跳ねが激しい場合は、止水栓を絞るか、水はね防止マットの位置を微修正してください。
- 施工後、気候や経年の変化、設置環境により、ひび割れや変色、退色（色あせ）や汚れが発生する場合があります。
- ねじれや寸法のばらつき、多少の色ムラがある場合があります。

施工前のご確認

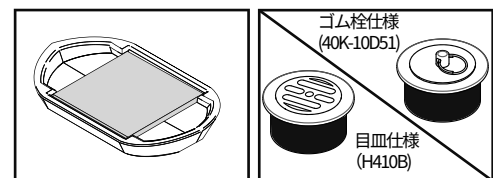
- ガーデンパンは、必ず安定した砂利、空練りモルタル、クラッシュランの上
などに設置してください。
- 水栓柱の給水配管に干渉しないよう、水栓パン、及び排水設備を施工して
ください。
- 水栓パンの排水金具は塩ビパイプ VU40 対応品です。
排水管は塩ビパイプ VU40 をご用意ください。
※排水管（塩ビパイプ VU40）は付属しておりません。

お手入れ方法

- ゴミ等により排水口が目詰まりすることがあります。その場合、排水口を
掃除してください。
- 付着した汚れは、水で薄めた中性洗剤をしみ込ませてお拭き取りください。
最後に水で濡らした柔らかい布で軽く拭いてください。
- 研磨剤入りのクレンザー等は使用しないでください。本体表面に傷をつける
おそれがあります。
- 酸性や塩素系の洗剤・ベンジン・油などは、使用しないでください。
変色・変形・漏水の原因となります。

同梱品

- 排水金具は、ゴム栓品番をご注文頂いた場合は
ゴム栓が、それ以外は目皿が付属します。



パン本体 &
水はね防止マット

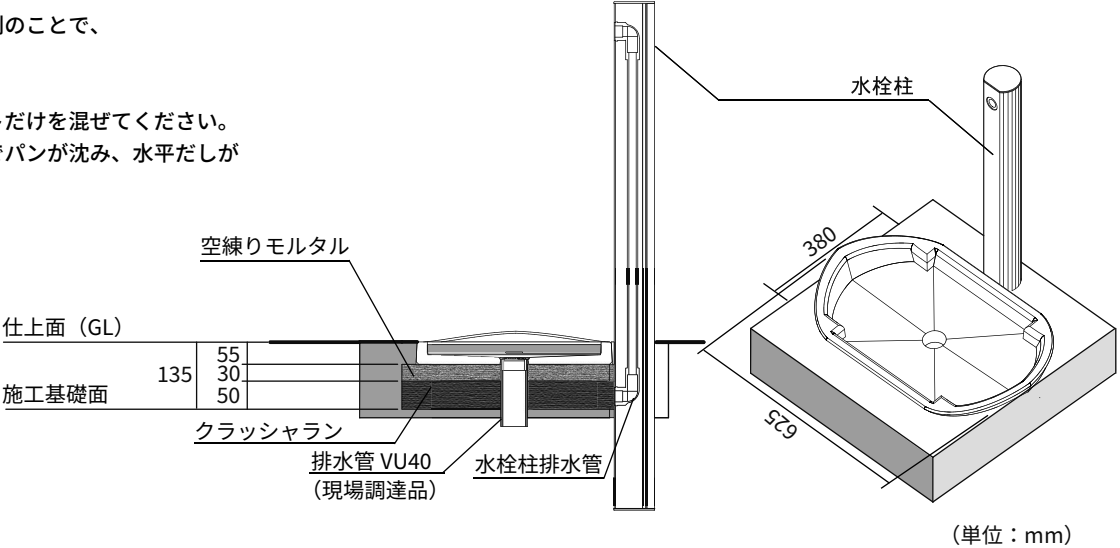
排水金具
(塩ビパイプ VU-40用)

材質

- 本体・・・レジンコンクリート
- 水はね防止マット・・・ポリエチレン
- 排水金具（目皿仕様）・・・黄銅、ABS
（ゴム栓仕様）・・・黄銅、ABS、NR、ステンレス鋼

施工完了例

- クラッシャラン
土木・建築工事などで使用する砂利のことで、施工時の基礎材に用います。
- 空練りモルタル
モルタルは、湿らせた砂とセメントだけを混ぜてください。
水で練ったモルタルの場合、重みでパンが沈み、水平だしが難しくなります。



施工手順

- お好みで埋め込み深さを変更する場合は、希望する埋め込み深さにあわせて寸法の調整を行ってください。
- 設置環境に応じて、パンの横ずれの起こらないよう補強してください。

1

パンの大きさより周囲100mm以上大きく、135mm以上の深さで床掘し、充分に転圧します。このとき排水管(塩ビパイプVU40現場調達品)をパンの穴位置にあわせ埋設しておきます。排水管の上端高さは、施工基礎面を基準に90mm以下になるように調整してください。また、水栓柱の給水管と干渉しないよう、排水パイプの位置を検討してください。

施工基礎面より90mm以下の高さ
GL
施工基礎面
GLより135mmの深さ

2

クラッシャランを50mm以上敷設し転圧した後、その上に空練りモルタルを30mm以上敷設します。

空練りモルタル
施工基礎面

3

パンを水平にセットし、パンの位置や高さを調整します。この時、排水管の先端がパンの底から5mm～9mmの高さになるように調整します。排水管の先端が飛び出した場合、適切な高さへ切断、または空練りモルタルで高さを調整し、問題が無い事を確認してから、パンの周囲を埋め戻してください。

排水管の状態
排水管の先端が飛び出さないこと
9
(単位: mm)
排水管VU40

4

排水管とパンの隙間をシリコン系コーキング剤で充填し、排水金具を差し込みます。水はね防止マットをセットして、完成です。この施工方法での施工では「完了図」のように両端がGLより上にです。

完了図
排水金具(付属品)施工方法
隙間をコーキング剤で埋める

施工後のご確認

- ガタツキが無い、水平に保たれているか確認してください。
- 水栓を吐水させ、適切な吐水量であるか確認してください。水はねが激しい場合は、止水栓を絞るか、水はね防止マットの位置を微修正してください。
吐水量が排水能力を上回る(あふれる)場合は、適正水量になるまで止水栓を絞ってください。
- 通水、排水経路の接続部に水漏れが無い、排水がスムーズに行われるか確認してください。
- メンテナンスなどで止水栓を閉め再び開く場合などには、必ず水栓の吐水量の確認および調整をしてください。